日本大学経済学部産業経営研究所

公開研究会

令和元年度統一テーマ　「社会構造の変化と産業経営」

第303回

講演テーマ

「日本企業の『稼ぐ力』は高いのか？」

立教大学　経済学部

准教授　**米谷　健司　氏**

日時：2020年1月22日（水）　18:00～19:30

会場：日本大学経済学部　3号館9階 3092教室

■講演の内容■

日本経済を成長軌道に乗せるためには、日本企業の「稼ぐ力」を高める必要がある。経営者は企業価値を持続的に創造するとともに、投資家もその実現に向けて積極的に経営者と対話することが求められる。日本の株式市場で最も時価総額が高い企業はトヨタ自動車で約25兆円（2019年12月時点）。これに対して米国のアップルやマイクロソフトの時価総額は120兆円を超える（2019年12月時点、1ドル＝110円換算）。なぜここまで差が拡大したのか。

また、最近の株式市場では、収益性や成長性といった観点だけでなく、環境や社会といった観点からも評価される。こうした流れは、資本市場の主要なプレイヤーである機関投資家に期待されている役割と無関係ではないであろう。

米谷健司氏による本講演では、資本市場をめぐる諸問題に触れながら、企業価値経営の重要性について解き明かされます。

対象：一般・学生　※聴講は無料です。

主　催　：日本大学経済学部 産業経営研究所

問合せ　：日本大学経済学部　研究事務課

Tel: 03-3219-3309

Institute of Business Research
Nihon University College of Economics